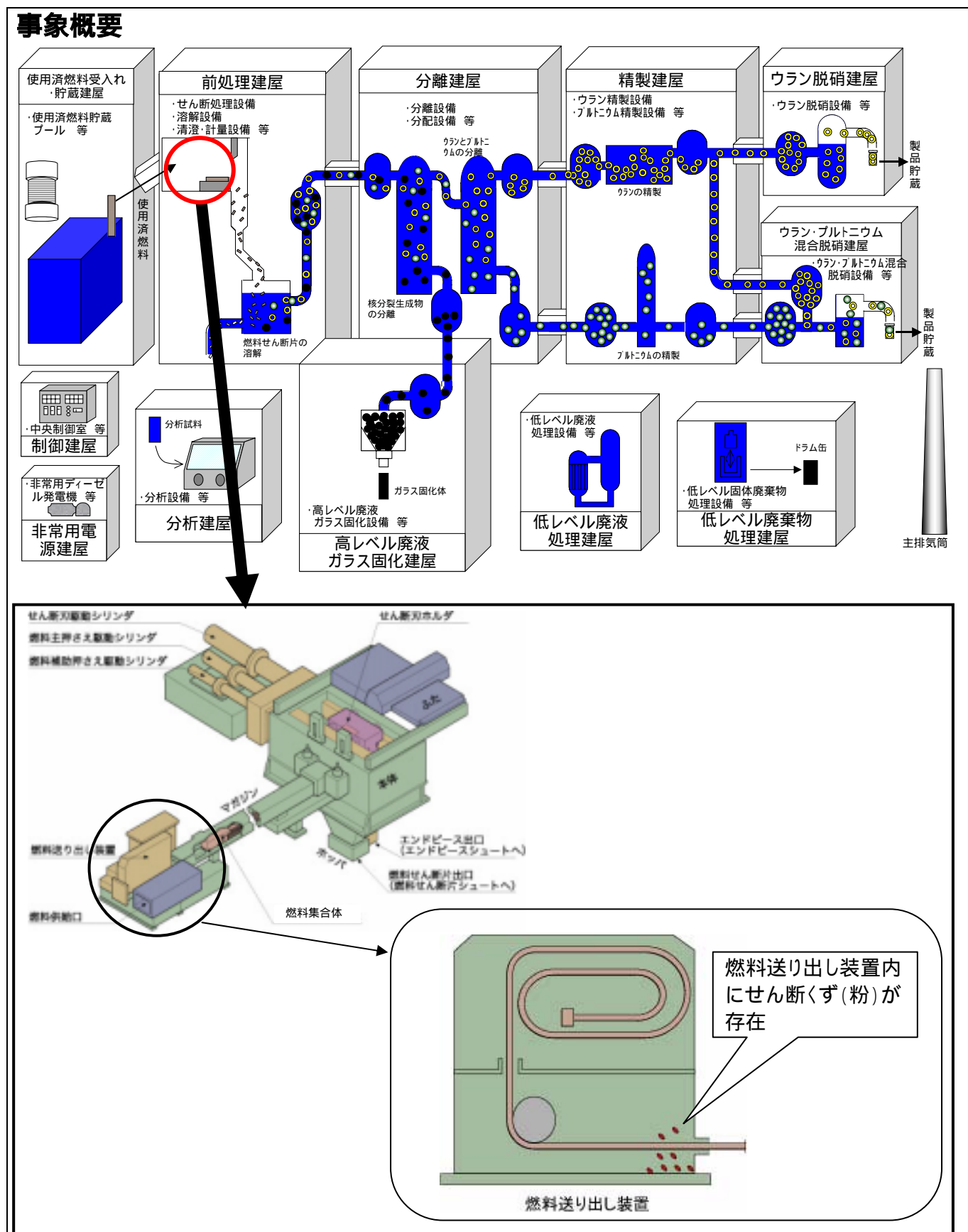


## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 22)

<b>件名</b>	燃料送り出し装置内でのせん断くず(粉)の存在
<b>事象の概要</b>	
(1) 発生場所・機器	前処理建屋:せん断機
(2) 発生の状況	せん断機の運転中
(3) 概要	燃料集合体のせん断終了後、燃料送り出し装置内に燃料集合体のせん断くず(粉)が存在していたことにより、燃料押し出し具の後退中に駆動機構トルク高が発生
<b>事象による影響</b>	
(1) 工場外への影響	<b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働しているせん断機の燃料送り出し装置での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。
(2) 安全性への影響	<b>安全上の問題は生じない。</b> トルク高による燃料送り出し装置の停止に伴いせん断機が停止することにより、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。
(3) 作業員への影響	<b>作業員への影響は生じない。</b> せん断片除去等の復旧作業は、セル外からの遠隔操作なので作業員への影響は生じない。
(4) 他工程への影響	<b>下流の工程の運転に影響が生じる。</b> せん断機が停止することにより、前処理建屋内の溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の中間に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。
<b>対応の概要</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 定められた保守作業手順に従って、燃料送り出し装置の蓋を開け、せん断くず(粉)を取り除く。</li> <li>(2) 清掃後、蓋を閉じ、定められた操作手順に従い、運転を再開する。</li> </ol>



公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)									
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">0以下</td> <td style="border: 1px solid black;">1</td> <td style="border: 1px solid black;">2</td> <td style="border: 1px solid black;">3</td> <td style="border: 1px solid black;">4</td> <td style="border: 1px solid black;">5</td> <td style="border: 1px solid black;">6</td> <td style="border: 1px solid black;">7</td> </tr> </table> <p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) → 放射性物質の外部放出 → 工場外への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 → 工場内への影響</p> <p>運転制限範囲からの逸脱等 → 多重防護の劣化</p>	0以下	1	2	3	4	5	6	7
	0以下		1	2	3	4	5	6	7	
	(b) 運転系統を切り替えて復旧									
	(c) 当該機器を停止して復旧									
	(d) 当該設備を停止して復旧									
(e) 影響範囲の設備を停止										